

大震災からの復旧

— 知られざる地域建設業の闘い —

「がんばろう!日本」—。

未曾有の大災害に立ち上がったのは自衛隊や消防・警察、自治体だけではない。

東日本大震災の被災地には大量の瓦礫を除去し、道路・橋梁・港湾の復旧を進めるために力を尽くした全国の建設事業者たちがいた。

復旧初動時に地域建設業者がどう動いたのか、機能しない自治体もある中でどのように連携したのか等、知られざる活動を歴史の証言として刻む1冊。

地元建設業を取材し、書き下ろした渾身のドキュメント!

【編著】米田雅子、地方建設記者の会

A5判・定価2,000円(本体 1,905円+税) 送料290円 ※定価は5%税込価格です。

目次

第I部 地域建設業の現場からの証言

- 被災地で自立救済に乗り出した岩手県建設業
- 混乱の中で自ら動いた宮城県建設業
- 原発危機、津波被災と戦う福島県建設業
- 協定に基づく巡回と応急復旧—青森県建設業
- 現場の第一線に真っ先に—茨城県建設業
- 砂の沼との闘い—千葉県浦安市の建設業
- 行政の枠にとらわれず支援を展開—東北地方整備局

第II部 支援に動いた地域建設業ネットワーク

- 経営する福祉施設に被災者受入れ—大場組（山形県）
- 北からの救援—北海道建設業協会の支援
- 緊急支援物資を輸送した建設トップランナー倶楽部
- 木材の回収を提言—中部森林開発研究会
- 市民団体と連携して救援物資を輸送—横浜建設業協会

- 排水ポンプ車で復旧を支援—TEC—FORCE と大分県建設業
- 災害ボランティア活動に従事—日本青年会議所建設部会
- 東日本大震災における全国建設業協会の対応

第III部 建設復旧を歴史の教訓に刻む

- 未来志向で国際社会に誇れる復興再生を
- 比較して初めてわかる日本の国土、地域に根づく建設業の役割
- 東日本大震災にどう対応するのか
- 被災地のスムーズな復旧・復興と将来の大震災への備え
- 復旧現場における規制との闘い
- 大きな自然と厳しい自然災害、そして我々にできる4つの対策
- 東日本大震災の復興の課題と地域建設業の役割

参考資料

著者紹介

米田雅子

慶應義塾大学特任教授、日本学術会議連携会員、建設トップランナー倶楽部代表幹事、JAPIC 森林再生事業化研究会主査。東日本大震災の総合対応に関する学協会連絡会幹事。釜石・遠野地域の森林再生と復興住宅を支援。1956年山口県生まれ。お茶の水女子大学卒。新日本製鐵、東京大学研究員、NPO 法人常務理事、東京工業大学特任教授を経て、2007年より現職。07年に建設業の新分野進出支援で内閣総理大臣表彰を受賞。専門は建設業と農業・林業の連携、地方公共対策等。内閣府規制改革会議委員など多くの政府委員を歴任。『日本は森林国家です』（ぎょうせい、11年）、『日本には建設業が必要です』（建通新聞社、05年）、『複業のすすめ—地域建設業の挑戦』（同、11年）等著書多数。

地方建設記者の会

地方で発行する建設専門新聞の記者有志で2005年8月に発足。地方建設業の役割の重要性を社会に伝えていくことを目的とする。メンバーは北海道建設新聞社、日刊青森建設工業新聞社、日刊岩手建設工業新聞社、秋田建設工業新聞社、建設新聞社（宮城）、福島建設工業新聞社、日本工業経済新聞社、日刊建設タイムズ社、新建新聞社、建通新聞社、北陸工業新聞社、建設経済新聞社、日刊建設工業新聞、大分建設新聞社、建設新聞社（長崎）、西日本建設新聞社、建設ネット、鹿児島建設新聞、沖縄建設新聞—の19社。共著に『日本には建設業が必要です』（建通新聞社、05年）、『複業のすすめ—地域建設業の挑戦』（同、11年）がある。

商品に関するご照会・お申し込みは

フリーコール（通話料無料）
電話受付時間：平日9時から17時

TEL：0120-953-431
FAX：0120-953-495



URL：http://gyosei.jp

キリトリ線

申込書

大震災からの復旧—知られざる地域建設業の闘い—

A5判・定価2,000円（本体1,905円＋税）送料290円 ※定価は5%税込価格です。コード 5107810-00-000 震災復旧

◎上記のとおり申し込みます。

御住所（〒 _____）

平成 ____ 年 ____ 月 ____ 日

〔社費・公費・私費〕

フリガナ
御氏名 _____

TEL _____

e-mail _____

新刊情報を（希望する / 希望しない）

※お客様の個人情報は、契約の履行、弊社からの商品・サービスのご案内以外の目的には使用いたしません。

●取扱者



株式会社 ぎょうせい

本社 東京都中央区銀座7-4-12 〒104-0061
本部 東京都江東区新木場1-18-11 〒136-8575
TEL：0120-953-431 / FAX：0120-953-495

URL：http://gyosei.jp